

平成28年度学校評価シート

学校名：和歌山県立和歌山工業高等学校 学校長名：田村 光穂

目指す学校像 育てたい生徒像
○本県の伝統ある工業高校として、基礎基本教育の原点を忘れず、職業教育のリーダー的役割を果たす、社会に貢献する学校
○教師と生徒が共に創造性豊かなこれからの工業教育（生徒が輝き、教師が夢を語ることができる）に取り組む学校
○校訓である「質実剛健」に相応しい、健全な自主自立の精神や勤労を尊重し、国内外の産業発展に貢献できるグローバルな視野を有する生徒

重点目標
1 進路保障に向け学力の充実を図ると共に、多様な学習の場の提供と、国際人の育成を行う
2 基本的生活習慣の確立と、問題行動の防止に努め、責任感の強い人材を育成する
3 広報の充実と地域との連携を深め、工業教育の新しい流れに対応できる、特色ある中核校を目指す
4 適正かつ円滑な校務運営に努め、教職員の意識向上を図り、教職員が成長する組織を構成する

達成度
A 十分に達成した（80%以上）
B 概ね達成した（60%以上）
C あまり十分でない（40%以上）
D 不十分である（40%未満）

学校評価の結果と改善方策の公表の方法
年度末に発行する学校だよりに学校評価の結果を掲載するとともに、本校ホームページでも公表する予定である

注 1、重点目標は3～4つ程度設定し、それらに対応した評価項目を設定する 2、番号欄には、重点目標の番号を記入する 3、評価項目に対応した具体的項目と評価指標を設定する 4、年度評価は、年度末（3月）に実施した結果を記載する 5、学校関係者評価も、自己評価の結果を踏まえて評価を行う

自己評価
重点項目
1 基礎学力の定着と、基礎・基本を重視する教育の充実
2 家庭の協力を充実させる体制の構築
3 小中学校や企業等に本校の特色が伝わっていない
4 校務の簡素化と成長性の高い組織づくり

学校関係者評価
平成29年2月実施
学校関係者からの意見・要望・評価等
<生徒評価>生徒評価平均は前年比でA評価が増え、E評価減った 年度当初示された和工プライドへの理解が少しずつ見えてきたと思われる結果となった 課題は、風紀や学ぶ意欲の向上を図ることで、和工プライドを充実発展させ自信ある進路決定につなげること。
<保護者のご意見（抜粋）>
・緊急時の学校からの連絡手段の確立を。生徒に環境整備を行わせる教育を希望します。全体的に活気がないように思います。インターンシップを体験しましたが親としては将来どのような会社や位ごとにかかわるのか分かりづらいです。
<学校評議員のご意見（抜粋）>
・生きる力の付いた人材を養成してほしい。・基礎学力の向上させるための検討を。・中堅教員によって学校教育を中心に自由に語り合えるようになっていけるのは喜ばしいことです。・重点目標について進路指導は将来を見据えきめて具体的な指導がされている。・グローバルな視点では英語でコミュニケーションする力を育成する取組をもう少し積極的に行ってよいのではないか。校長先生はミドルリーダーの育成、若手教員の指導力向上を目指して意図的積極的な声かけらしいシゴトをされている。・小中学校の教育現場にも教員を派遣されることも素晴らしい取組と考える。

※保護者様・評議員様、その他学校関係者様へ※ 学校評価にご協力いただき誠にありがとうございます。頂戴したご意見を来年度の成果につなげるよう生かしたいと思っております。